

# 歩み編さんだより

令和4年12月

Vol.11

『和泊町の歩み』編さん事務局発行

『和泊町の歩み』執筆者

リレーメッセージ

## 沖永良部島の

## 独自性を探る

### 熊本大学埋文調査センター助教

考古学編執筆者（古代・中世・近世）しんざとあきと新里亮人氏

「和泊町の歩み」編さんの仲間に加えていただき大変光栄です。沖永良部島の古代・中世・近世（教科書でいうところの奈良・平安～江戸時代）を対象に、考古学の調査・研究成果からわかる島の歴史や文化の特徴について執筆していきます。

2018年度まで、おとなり徳之島の伊仙町歴史民俗資料館に勤めていましたので、仕事・プライベートを問わず和泊町には何度も足を運びました。特に、立派な石造りの古こ墓が多く残されていることに驚かされました。ここ20年、町内の遺跡調査が積極的に進められてきましたので、その成果をしっかりとインプットし、近隣地域との比較によって島の独自性についてまとめていきたいと思えます。

考古学は、遺跡で発見されたモノ資料を研究の対象とします。実物の調査と資料化（図化、写真撮影）は欠かせませんので、執筆のために何度か島を訪ねます。お見かけした際にはご遠慮なくお声掛けください。



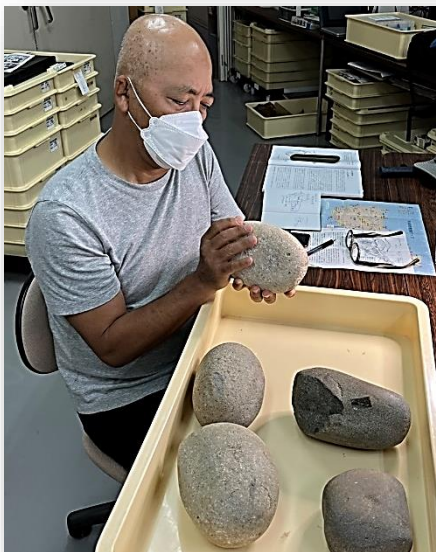
# 新城竜一教授による岩石鑑定が実現！

## 歴民館所蔵の出土石器・岩石類



「和泊町の歩み」自然編で地質担当の執筆者を務める新城竜一教授（琉球大学・総合地球環境学研究所）が、このほど、町内出土遺跡の石器・岩石類の鑑定を行いました。考古学編を執筆する専門家からの依頼を受けたもので、「歩み」編さん事業をきっかけに、学問の壁を超えた協力が実現しました。

新城教授は「エラブにないような石もあり、かなり古い時代から海を通じた交流があったことが、石からもちゃんと分かってきた。自然科学と考古学の交流ができた」と語りました。



鑑定していただいたのは、西原海岸遺跡や大当遺などから出土した石器類などです。100点以上の遺物を鑑定し、石材を同定していきました。



### 『和泊町の歩み』編さん室（事務局）

〒891-9112

大島郡和泊町和泊 591 番地

町立図書館 1階 郷土資料室内

TEL：0997-92-3690（役場内線750）

和泊町教育委員会生涯学習係

TEL：0997-92-1111（内線366）

担当：木場浅葱（学芸員）先田光演（執筆編集員）

甲恵子（事務）市来美穂（編集助手）



## まーちもーり

歩み編さん事務局では古い写真や古文書等の資料を探しています。提供いただいた資料は複写した上で必ずお返ししますので、お心あたりの方はご一報を！事務局は町立図書館内です。いつでも、お気軽にお立ち寄りください。

